

農林水産省委託

平成 22 年度

アフリカにおける農業投資拡大のための検討調査

成果報告書

2011 年 3 月

MRI 株式会社 三菱総合研究所

はじめに

本調査の目的は、サブサハラ・アフリカ地域におけるイモ類に対する民間投資を行うことを前提とし、サプライチェーン（あるいはバリューチェーン）各段階における投資に際しての問題点及びそれら問題点を解消して投資拡大を図るための手法を検討し、提言を取りまとめることである。

イモ類は、サブサハラ・アフリカ地域、特に西アフリカにおいて広汎に主食として用いられているものの、伝統的な農業様式、低い土壌肥沃度、及び病虫害問題など様々な理由から低い生産性を余儀なくされている。アフリカ地域は高い経済成長が続いているが、一方で世界金融危機の影響を受け、開発援助の減少が懸念されるとともに、資源国を中心に直接投資などの資金流入や国債発行により対外収支や財政収支の赤字を埋めることが必要な国が多いことも指摘されている。また、投資環境の指標として重要な、法制度、汚職度、インフラ整備状況、税制等についても整備が進んでいるが、未成熟かつ政治リスクを伴った不安定な国が多い。このため、特に一般には国際取引作物ではないヤム、キャッサバ等に対する投資を行う場合には障害が多く、克服すべき問題点は多いのが実情である。

本調査の対象国は、サブサハラ・アフリカ地域におけるヤム及びキャッサバの代表的生産国であるナイジェリア連邦共和国とガーナ共和国である。本調査では、両国におけるヤム及びキャッサバの生産－貯蔵・輸送－加工・流通、消費ならびに研究開発などのバリューチェーンの各段階において、民間が投資をする上での問題点を把握し、その問題点を解消して投資拡大を図る手法を検討して提言をまとめた。さらに、サブサハラ・アフリカ地域に対して積極的に開発援助を実施しており、また今後の民間投資拡大のポテンシャルも有する第三国としてブラジル連邦共和国を取りあげ、その政策及び開発援助、民間投資の事例についての調査も実施した。

なお、調査においては、上述した検討結果及び提言をもとに、対象国において政府機関、ドナー等と政策対話を実施し、さらに関連するステークホルダーを対象としたワークショップを開催することにより、民間投資拡大についての啓発を図った。また、現地調査において得られた情報、寄せられた意見などをもとに、今後の展望についても検討を行った。

平成 22 年度
アフリカにおける農業投資拡大のための検討調査
目次

第 1 章 業務の概要	1
1.1 本調査の背景と目的	1
1.2 本調査の内容と進め方	2
1.2.1 本調査の内容	2
1.2.2 検討委員会の開催	5
1.2.3 現地調査の実施	7
第 2 章 対象国におけるイモ類の生産事情及び関連産業	8
2.1 ナイジェリア	8
2.1.1 農業生産概要	9
2.1.2 ヤムの生産及び関連事情	10
(1) ヤム栽培の概要	10
(2) ナイジェリアにおけるヤムの生産状況	14
(3) ヤム生産支援に係る主な取組	17
2.1.3 キャッサバの生産及び関連事情	19
(1) キャッサバ栽培の概要	19
(2) ナイジェリアにおけるキャッサバの生産状況	21
(3) キャッサバ生産支援に係る主な取組	23
2.2 ガーナ	25
2.2.1 農業生産概要	26
2.2.2 ヤムの生産及び関連事情	28
(1) ヤム栽培の概要	28
(2) ガーナにおけるヤムの生産状況	30
(3) ヤム生産支援に係る主な取組	33
2.2.3 キャッサバの生産及び関連事情	34
(1) キャッサバ栽培の概要	34
(2) ガーナにおけるキャッサバの生産状況	35
(3) キャッサバ生産支援に係る主な取組	38
2.3 ブラジル	38
2.3.1 農業生産概要	38
2.3.2 キャッサバの生産事情及び関連産業	41
2.3.3 ヤムの生産事情	44
2.3.4 アフリカの農業分野における取組動向	47

(1) ブラジル政府による対アフリカ農業支援.....	47
(2) 民間企業の取組動向.....	49
第3章 ヤム、キャッサバのバリューチェーン.....	51
3.1 ヤム（ナイジェリア）.....	51
3.1.1 生イモとして消費されるパターン.....	51
(1) 概要.....	51
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	52
(3) 生イモの消費形態.....	53
3.1.2 工場加工されるパターン.....	53
(1) 概要.....	53
(2) 粉末ヤムの加工.....	54
(3) バリューチェーン構造と関係者.....	55
3.2 ヤム（ガーナ）.....	58
3.2.1 生イモとして消費されるパターン.....	58
(1) 概要.....	58
(2) バリューチェーンの構造と関係者.....	58
(3) 生イモの消費形態.....	59
3.2.2 生イモで輸出されるパターン.....	59
(1) 概要.....	59
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	60
(3) 輸入元の関係者.....	61
3.2.3 工場加工されるパターン.....	61
(1) 概要.....	61
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	61
3.3 キャッサバ（ナイジェリア、ガーナ共通）.....	64
3.3.1 生イモとして消費されるパターン.....	64
(1) 概要及び消費形態.....	64
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	64
3.3.2 一次加工製品として流通するパターン.....	65
(1) 概要及び消費形態.....	65
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	65
(3) ドナーによる振興対象となるキャッサバ一次加工のバリューチェーン.....	66
3.3.3 加工用原料として流通するパターン.....	66
(1) 概要及び消費形態.....	66
(2) バリューチェーン構造と関係者.....	67
3.4 バリューチェーンの視点での整理.....	72

(1) 生産.....	72
(2) 貯蔵、輸送、（卸売）.....	73
(3) 加工、（加工品流通）.....	73
(4) 消費（国内消費）.....	74
(5) 輸出.....	74
第4章 投資を促進する施策の提案.....	78
4.1 投資環境と配慮事項.....	78
4.1.1 投資促進の体制.....	78
4.1.2 現在の投資環境及び対内直接投資の動向.....	78
(1) ナイジェリアの投資環境及び対内直接投資の動向.....	80
(2) ガーナの投資環境及び対内直接投資の動向.....	82
4.2 ヤム、キャッサバ関連分野を振興するための問題意識と方向性.....	85
4.2.1 投資促進の視点.....	85
4.2.2 過小な均衡状態の打破～バリューチェーン強化の必要性.....	86
4.2.3 投資を支援するための視点.....	87
(1) 既存の投資を支援するための視点.....	88
(2) 新規の投資を支援するための視点.....	89
4.3 ヤム、キャッサバ関連分野振興のための施策の提言.....	90
4.3.1 第一段階：バリューチェーンの下流部分刺激施策.....	90
(1) ヤムの都市部市場向け加工食品の開発支援策.....	90
(2) キャッサバ生産・消費奨励キャンペーンの支援策.....	91
4.3.2 第二段階：能率的バリューチェーン構築施策.....	92
4.3.3 第三段階：輸出振興施策.....	92
(1) 海外市場における情報を提供することによる支援策.....	93
(2) 貿易手続に関する能力開発を通じた支援策.....	93
4.4 官民連携～民間投資を呼び込むために援助に期待される役割.....	94
(1) 投資が実現する段階での官民連携の可能性.....	94
(2) 投資を呼び込む段階で期待される官民連携.....	94
(3) 貧困削減の視点からの支援策～BOP ビジネス創出支援.....	95
第5章 現地にて得られた示唆と今後の展望.....	97
5.1 政策対話及びワークショップの概要と得られた示唆.....	97
5.1.1 政策対話.....	97
(1) バリューチェーンの下流部分刺激施策について.....	98
(2) 能率的バリューチェーン構築施策について.....	99
(3) 輸出振興施策について.....	99
5.1.2 ワークショップ.....	100

(1) ヤムについて.....	100
(2) キャッサバについて.....	101
5.2 結論.....	102
5.3 次年度以降への展望.....	104

本報告書では、以下為替レートを用いた：

1 NGN = 0.55 円

1 GHS = 54 円

1 BRL = 49 円

1 GBP = 135 円

1 USD = 85 円